

第11回 技術情報発表会 新聞報道

新技術など発表 2年ぶり開催

道設備設計 事務所協会

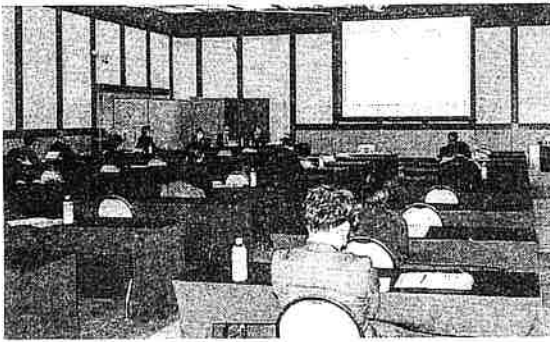
北海道設備設計事務所協会は16-17日の2日間、札幌ビューホテル大通公園で第11回技術情報発表会・商品説明会を開いた。写真。各社が最新の技術や製品を発表し、オンラインでも配信。パネル展示はなかった。昨年はコロナ禍の影響で中止したため開催は2年ぶり。

2日間で延べ174人

が参加し、うち78人はZoomでオンライン参加。北海道開発局など官公庁や、協会会員の設計・設備事務所、メーカーなどから実務担当者らが集まった。

初日の電気分野では9社が発表。エナジア(本社・福島県郡山市)がリチウムイオン蓄電池システムを、北海道電力はZEBコンサルの取り組みを紹介した。

機械分野の2日目は、三菱重工冷熱(本社・東京)が20年度省エネ大賞で受賞実績のあるふく射



木設計事務所(本社・札幌)の堀井淳史社長によると、近年は省エネや脱炭素などを重視する技術発表が増えているという。

冷暖房システム「ユカリラ」を紹介し、環境性能や効率性をアピール。OTTO北海道支社は公共空間のユニバーサルデザイントイレを発表した。技術委員長を務める高